

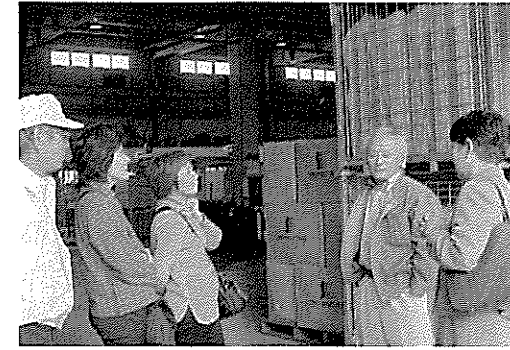
# きずな

思いやる 心で築く 明るい地域

## 広報部

副部長 市川和美

今の子供達の遊びと言えば、テレビゲームにパソコンなど機械相手が多く、人と人のつながりが薄くなってきている様に思います。豊浜地区家推協では、家族・地域でのつながりを大切にしていきたいと願い活動を続けています。この広報部では各部の活動内容や地区の行事、町や人々の様子など地域の皆様の御指導、御協力を頂きそれを記事にして皆様に見て頂ける様に努力をしています。  
この広報紙「きずな」が地域と家族を結ぶ「きずな」になる様願っています。



プラスチック工業団地にて

### <広報部取材活動>

今回は豊浜地区の産業に注目してプラスチック団地取材しました。

## 部会だより



### ふれあい活動部

副部長 家田敏之

「青少年の育成は豊浜地区全ての人が関心をもち、人々が一体となって教育環境を整備し青少年の健全育成を図る」ことを活動の目的としています。  
今年度は「親子ニューススポーツ大会」「夏休み一斉ラジオ体操」「三世代ふれあい歩け歩け大会」を開催しました。  
地域全体で豊浜っ子を育てよう。今後もぜひ参加してください。



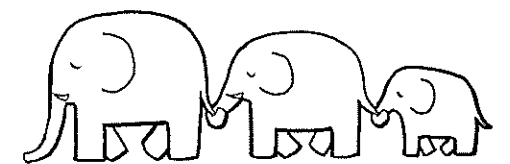
### 教育環境部

副部長 塚本俊道

挨拶運動として、七月より毎月十日に登校する中学生に「おはよう」と声をかけると、元気な声で返ってくる子、眠たそうな声で返事をしてくれる子様々ですが、挨拶は社会生活において必要不可欠なもの、これだけは将来も役に立ちますので、守って欲しいものです。  
そのほかに、教育環境部としては、秋に豊浜地区の環境美化を目的に地域の方々と共にクリーン作戦を行っています。  
これからの活動を通して地区の皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いとおもいます。

### 編集後記

家推協の活動に関わらせて頂き、地域と子供達とのネットワークのお手伝いを少しでもできればと、頭を抱えながらの編集となりました。複雑になってゆく現代社会、私達大人は未来ある子供達に何を伝えていけばよいでしょう。  
御協力いただいた皆様には心より御礼申し上げます。



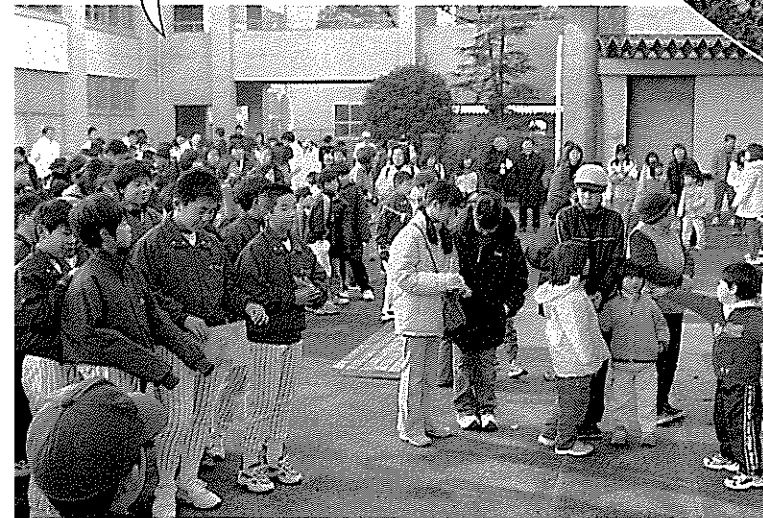
はい 大当り  
オメデトウ

さあ 歩くぞ〜

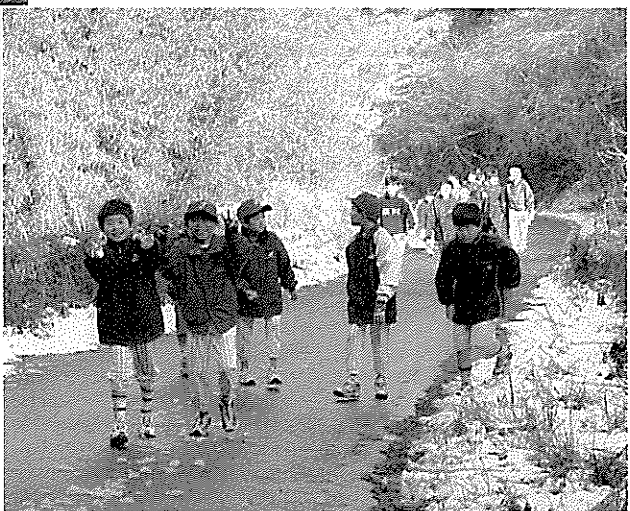
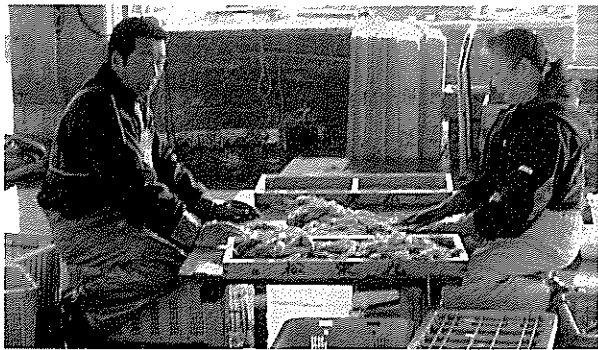


募金活動  
ガンバッテマ〜ス

初ものの  
ワカメだよ





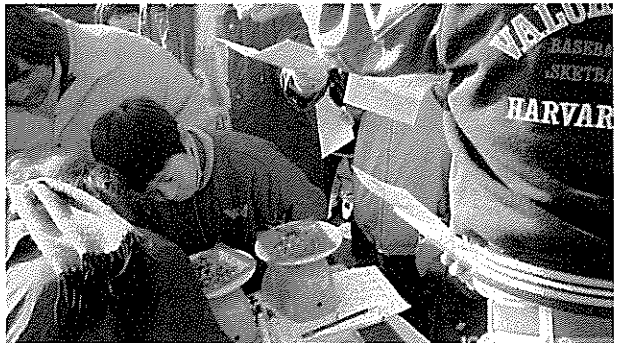


### 楽しかった歩け歩け大会 豊丘小六年 榎原悠斗

一月十九日、ぼくは、「三世代ふれあい歩け歩け大会」に参加しました。道は、雪が降った後で、すべりやすかったので、気をつけて歩きました。歩き始めてすぐに坂道が続き、息が切れました。しかし、山や海や畑の景色がとてもよく、つかれなんか感じませんでした。また、途中にいろいろなチェックポイントがあり、ゲームが考えられていました。楽しいゲームで歩くのも軽くなりました。豊浜小学校に着くとそこにはあたたかい汗があり、とてもおいしかったです。来年も参加したいなあと思いました。

1月18日(日)、三世代ふれあい歩け歩け大会が開催され、230名が参加しました。豊浜小学校をスタートし、パイロット→小佐→豊浜漁港→豊浜小学校の7kmのコースと約3kmのショートコースを歩きました。参加者のみなさんは自然を満喫し、みんなとふれあう事ができました。

# 歩け大会



### 歩け歩け大会 豊浜中一年 松本あづき

私は、今年で二回歩け歩け大会に参加しました。ただ、歩くだけというイメージがありましたが参加してみると、とても楽しいです。歩いて行くと、ちょっとしたゲームがあります。それも楽しいんですが、一番の楽しさは友達と一緒に歩くことです。長い距離でも友達となら歩けるような気がします。歩け歩け大会は、いろんな人達が参加するのでいろんな人と、知りあえます。そんな所に進んで参加することは良いことなんで、多くの人がそうゆう所に参加してくれるといいなあと思います。



### 私の家族

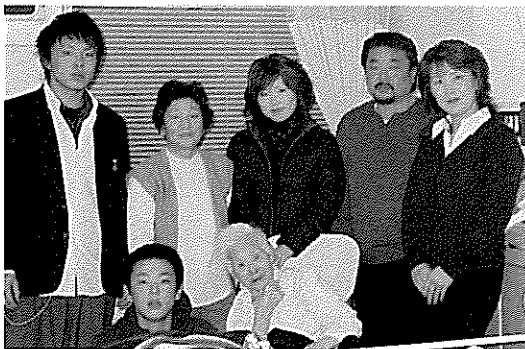
山田 山下盛行

九十三歳の祖母、母、私達夫婦、大学生の長女、高校生の長男、中学生の次男、これが私の家族です。家の中は、昔から親戚などの人の出入りも多いこともあり、いつもにぎやかです。私達が、昼間夫婦で仕事に出ている間、母は家のことを守り子供達は元気に学校に通う。祖母は今入院中ですが、そんな祖母にも家族としての役割があります。それは、存在です。一人一人がそれぞれ大事な役割を持っているのです。このように自然と家族が支え合うことで、これからもそれぞれの役割を大切に、仲良く暮らしていきたいと思っています。

### 山の神祭り(中洲神社)と神酒倉

磯部宅成

中洲神社東の小高い丘に山神社があり、山神社が旧暦一月六日夜、神社前の広場で行われた。この祭りに供される神酒(白酒)を醸造できるのは六軒に限られていて、毎年交代してその任に当たった。当番の家の人は、その年初雪が降ると神社に行き、境内にある木々をゆすつて雪を落とし、竹箒ですくつけない(水桶)に入れて、家の神酒倉に運び、発酵させるのに使った。神酒は専用の瓶でつくる。瓶の蓋は、醸造の際生じる圧力を抜くため「麦から」を蓋の大きさに縦にして束ね、それを白い布で巻いて作った。



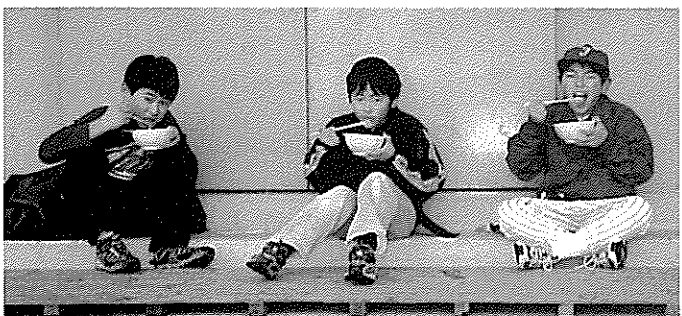
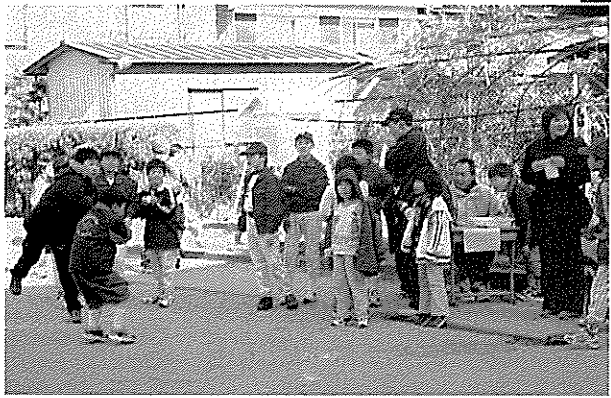
ある年、大火があり村の大半が焼き尽くされたが、村の中央にあった神酒倉は粗末な建物であったが、火災を免れたという。山神社の五、六日前から当番の家の人は、枯木、枯枝などを集め、広場に積み上げておく。一月六日夜十時、神社の近くの子供達が太鼓をたたきながら大きな声で「ツゲツゲゴオリシヨ、ヤマノカミノゴオリシヨ、モチノカケヤカンカイ」と言って山神社の始まりを村中に知らせた。十二時、中洲神社で数本の松



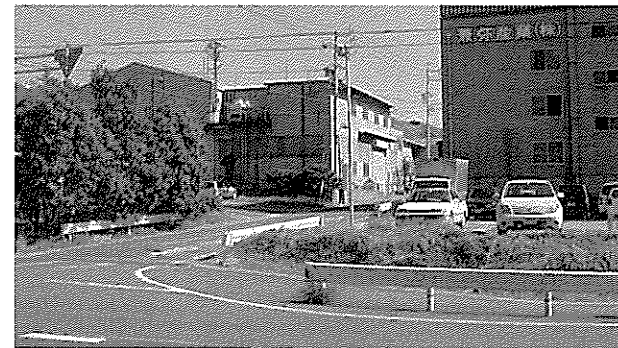
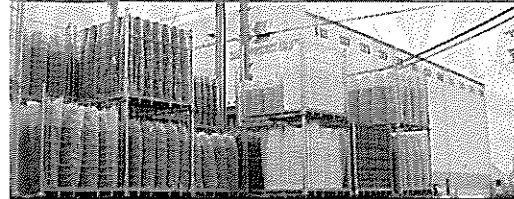
中洲神社

明に点火すると醸造元の主人を先頭にして山神社に向かう。神社に着くと先ず神前に神酒を捧げ、ついで枯木の山に四方から神酒を注ぎ安全を祈る。その後松明を四方から枯木の山に差し込んで点火した。村の人達は、神酒をいただく。夏病みしないといわれた。祭りの火が勢いを増すように「ツゲツゲ」と大きな声ではやす。火柱、中矢に上るほどであった。醸造元の家は、午前二時頃、火が焼になると提灯の明かりで足元を照らしながら山を下りた。不思議と周りの落ち葉や枯草に火の粉が飛び散っても燃えることはなかったという。また、遠く伊勢の答志島や神島からこの火がよく見えると豊漁といわれた。現在、この祭事は行われておらず、高浪忠男さんに当時のことを伺いました。

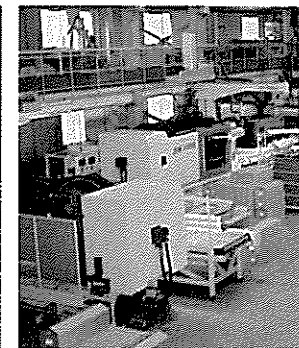




# 町・わが家



プラスチック団地



コンピューター装備の工場内

**歩け歩け大会に参加して**  
 中村 滝本 和美

今年は風もなく穏やかな日でしたが、前日の雪のため道が凍って、所々で足が滑ってしまい一歩一歩気をつけながら歩いてきたため、後半頃からスネのあたりが痛みました。

日頃どこへ行くにも車を使っていたので、歩く機会がほとんどないため、歩け歩け大会は地元をゆっくり歩いて自然にふられるので毎年参加させていたでいます。最初の登り坂が一番つらく感じますが、そのうち体が暖まってくると足よりも軽くなってきました。小佐の山から見下ろす豊浜港は最高です。

# 三世代ふれあし 歩け歩

**三世代歩け歩けに参加して**  
 中村 森 かつ美

昨年と今年二度目の参加でした。小二・小六の孫、嫁、みんなまで歩きました。前日の雪も少々残り、キャベツ畑の緑と雪の白丁度バッチワークで仕上げたじゅうたんの様できれい。海も寒中とは思えない程風ぎわたつて静かで絵に書いた様です。小二の孫娘は、「海は綺麗、とってもきれい、美しい」と見たままを詠んでくれました。私は須佐の港を眺めながら、その昔、この港は「黄金だらけ」と須佐踊り音頭の一節を思い出し、大切な港、みんなが愛し、守っていきたい、そしてこの幸せを感謝しつつ歩けることが出来ました。



**クリーン作戦**  
 豊浜地区 山本紀夫  
 区長兼会長

十一月九日に実施された環境美化活動の一環として豊浜地区において一斉にクリーン作戦が展開され、区民・学校の生徒一丸となつて取り組み、当日の目標を達成しました。時の流れと共に、このような活動が特に必要な時代になってまいりました。無駄なお金を使わずに出来る奉仕活動が求められている昨今、区民と子供が総出で地域の美化の為に奉仕する姿が、とても印象的で有意義な半日でした。今後、このように子供達と共に楽しく奉仕する機会が必要ではないかと痛感させられました。



## 野山をきれいに!

**野山をきれいに!**  
 豊浜中三年 山本裕貴

十一月九日、僕たちはクリーン作戦でゴミ拾いに行きました。集合場所には、もう数人来ていて、ゴミ袋をもらっていました。僕も、もらおうとしたら「きみ、今日は山の方ね」と言われました。

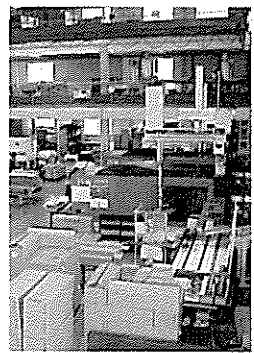
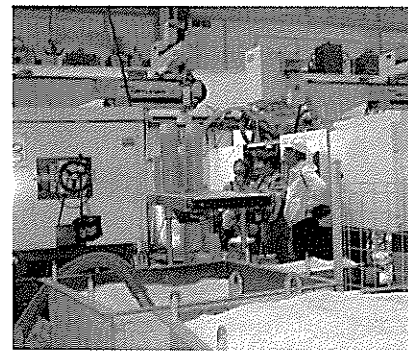
トラックに乗って山の方に行きました。そこにはゴミといえない物も捨てられていました。ゴミを拾いながら、さらに登りました。途中、ゴミをいっばい積み込んだ車にあいました。拾った物を持って、山を降り集合場所にもどりました。空き缶約百個、トイレの補給タンク二個、その他にもいろいろありました。

「もうゴミを捨ててほしくない」と心の底から思いました。



## 〔豊浜の地場産業〕 南知多プラスチック工業団地見学

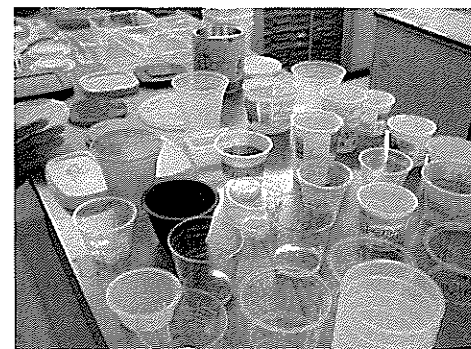
十月二十五日、広報部会のメンバーが、プラスチック工業団地にある四工場を見学しました。地元にある産業をよく知り、地域にも紹介したい、との思いからです。見学工場では、自動車部品、電気工具部品、食品容器、植木鉢などが作られています。やがては、トヨタ、ホンダ、マキタの欠かせない部品として用いられたり、私達の生活でよく見かける製品として、市場にたくさん出荷されています。



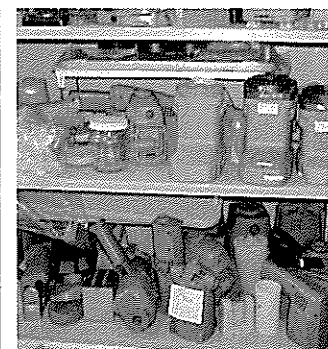
手前の原料が、アラ、植木鉢に変身! 世界のトヨタ、ホンダの部品に...



意外や、パチンコの受け皿も!



よく見かける食品カップズラリ!



マキタの電動工具





「切絵」横山恭平

# ふれあい広場

## みんなで楽しんだ町民文化展 文協まつり



豊浦保育所 生活発表会

### 最後の豊小秋祭り

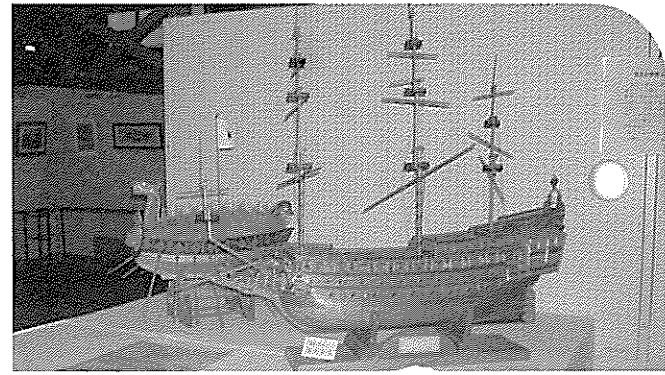
豊浜小六年 相川 祐子

十一月十三日、豊小秋祭りがありました。私は、児童会役員としてオープニングセレモニーなどを担当しました。また、秋祭りの見どころを紹介しました。劇の内容はユニセフ募金に向けて紹介しました。数日前から、この秋祭りに向けて準備してきたので、練習の成果が出て、自分の発表の言葉が忘れることなくすらすらと言うことができ、うれしかったです。  
お店の見学では、どの学級もがんばって用意してあり、楽しいものばかりでした。  
観劇会では、魔女や自転車に乗る郵便屋さんのせりふや動作がおもしろかったです。  
小学校最後の秋祭りは、すごく充実し、最高の秋祭りになりました。

子ども達には負けないわ



発の歌の



### 文協まつり

豊浜小教頭 大岩 信久

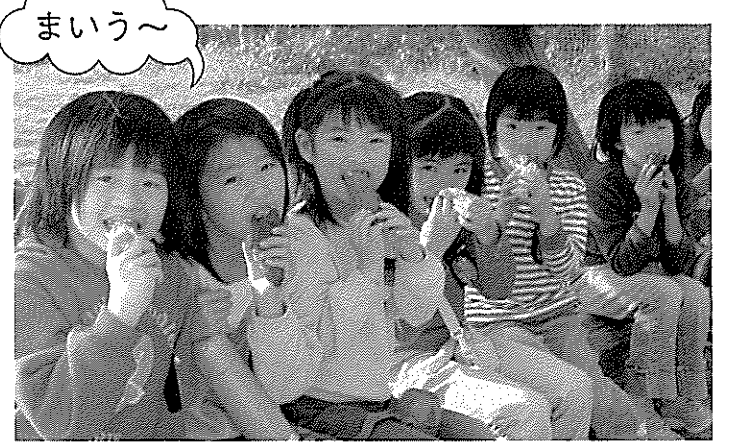
今年には趣味の帆船模型を出品させて頂きました。十七世紀中頃の英国戦艦ソプリン号と朝鮮の亀甲船です。ソプリン号は海の王者と呼ばれた一級戦列艦で、大砲百門と八百人乗組みの重厚な戦艦です。亀甲船は豊臣軍が朝鮮に侵攻した時、名将李舜臣が考案した戦艦です。甲板を刀槍で装甲した針鼠のような船で、櫓が進み、無風でも操船できました。この船のため豊臣軍は敗戦に向かったと言われます。  
これらの模型は絵図を元に作りました。素材は主に椗です。

### 文協まつりを終えて

豊浜中2年 村上 沙穂



文協まつりは、私たち吹奏楽部にとって良い演奏の機会となりました。  
夏のコンクール以来の、たくさんのお客さんに聴いていただける場だったので良い刺激となり、ノリノリで演奏させてもらうことができました。その上アンコールまでしていたので、聴いていて楽しい演奏になったのならとても嬉しいです。  
まだまだ未熟な私たちではありますが、聴いて下さった方たちに感謝したいと思います。



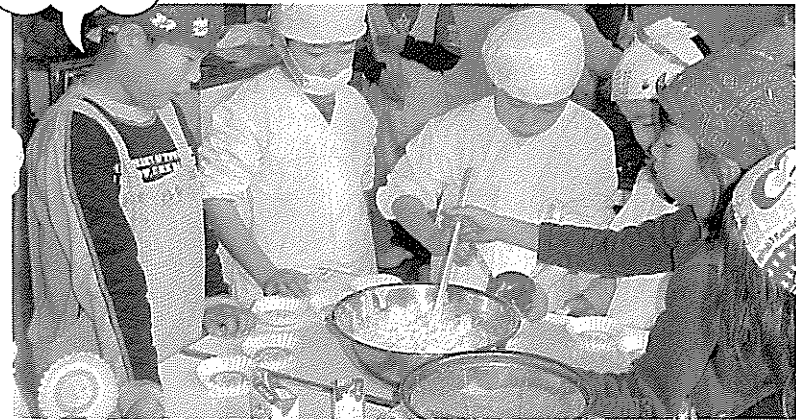
まいう～

### おもいパーティー

豊浜小二年 山本さちほ

十一月二十七日、木曜日におもいパーティーがありました。  
わたしは、豊丘小学校の人とやったドッジボールが一番楽しかったです。豊丘小学校の人たちは人数が少なかったけど強かったです。はじめは、わたしがどんどんやられていたけれど、さいごのほうでは豊浜小学校もかっ飛ばしました。しょうぶはつかなかっただけとても楽しかったです。またやりたいなあと思いました。  
友だちが二人もできました。今日はとても楽しかったです。

おいしく  
できるかな



### また会いたいな

豊丘小二年 家田智志

ぼくたちは、とよはま小学校に「おもいパーティー」をしに行きました。とよはま小学校は、とよおか小学校より百ばいくらい大きかったです。教室のぞいただけで、ドキッと思いました。はっぴょうをしてからドッジボールをしました。はじめてだったのでとても楽しかったです。  
むしパンを作る時には、友だちができてうれしかったです。それで、じゃんけんとか話とかしました。むしパンは、すごくおいしかったです。  
帰る時、もう帰っちゃうのかと思いました。いっぱい手をふりました。また、会いたいです。

## 火の用～心！！

### 防火パレードに参加して

かるも保育所母の会 家田佳子



平成十五年度より中洲保育所との合併により、今年から「かるも保育所幼年消防クラブ」として消防署、お巡りさんの協力を得て十月二十三日に防火パレードを行いました。園児達は皆法被をはおり、黄組が拍子木を手にとり「火の用心 マッチ一本火事の元」と元氣よく囀り出発し、大きな声で何度も繰り返しながら地域の皆様に火災の予防を呼び掛けました。「火」というものは一つ間違っても恐ろしいものです。子供達に火の大切さ、そして恐ろしさも一緒に学んでくれれば、と思いました。